

しまし 議会だより

Shimashi
Gikai

第78号

2024. 6. 1

第1回定例会
令和6年度
一般会計当初予算等を可決



『恵に感謝』 たまやま けんじ 玉山 健司

第3回御食国志摩写真コンテストにおいて、
入選した作品です。

ここが聞きたい！



この事業に
注目



YouTube「志摩市議会」チャンネルでは議会の録画映像を視聴できます。YouTube

3月

第1回定例会

2

3月 第1回定例会

オール志摩で市制20周年を

市制20周年記念推進事業

1800万円

官民連携により、市制20周年を契機に実施する各種記念事業の推進を図ります。

問 市制20周年記念推進事業の実行委員会負担金1500万円の事業内容を問います。

答 予定している事業の概算は、①阿児アリーナ周辺で開催予定のキックオフイベント経費680万円 ②既存のイベントや祭りのコラボ企画が500万円 ③ファイナレ企画が300万円、その他、需用費や業務費等の経費に係る予算を20万円見込んでいます。

問 市民企画イベント補助金300万円は、事業費の補助率は50%で上限30万円となっています。どのような事業を想定していますか。

答 市民活動団体等が自ら企画し実施する事業に対して補助を行います。補助対象は4月から12月までの間に実施する、市民が誇りを持てるまちづくり、将来を担う次世代への継承、まちの未来、まちの魅力発信のいずれかのキーワードに繋がる事業で、広く市民が参加できる事業とし、新規事業以外にも既存の事業を拡大する場合も対象としています。

3月定例会を2月28日から3月22日まで24日間の会期で開催しました。今定例会では、令和6年度一般会計予算案等41議案とその他12件が提出され、審議の結果、全議案を可決しました。
また、一般質問では10人の議員が熱弁を振るいました。

令和6年度 会計別当初予算

※ 1万円未満四捨五入

会計区分		令和6年度予算額	対前年度当初比
一般会計		269億 3441万円	1.8%
特別会計	国民健康保険特別会計	64億 276万円	△ 0.4%
	後期高齢者医療特別会計	16億 3186万円	6.3%
	介護保険特別会計	76億 738万円	2.8%
	住宅新築資金等貸付事業特別会計	452万円	△ 4.7%
企業会計	水道事業会計	26億 4820万円	9.3%
	収益的支出	16億 5544万円	1.4%
	資本的支出	9億 9276万円	25.6%
	下水道事業会計	8億 4386万円	△ 2.8%
	収益的支出	5億 846万円	0.3%
	資本的支出	3億 3540万円	△ 7.3%
	国民健康保険病院事業会計	18億 1347万円	17.0%
	収益的支出	14億 8307万円	5.0%
	資本的支出	3億 3040万円	140.9%
志摩市全体予算総額		478億 8646万円	2.6%

少子化対策・出会いの支援事業

若者の集いと出会いの支援事業

200万円

結婚を希望する若年層の結婚支援および若者の出会いや交流の場の創出を図ります。

問 大幅予算減額の理由を問います。

答 令和5年度は、この事業に500万円を計上し、令和2年度から継続実施している「結婚支援事業しま恋」に加え、「志摩の魅力を活かした若者の出会い創出事業」として、出会いの促進や地域の魅力の再発見等を目的に、ビーチサイドマルシェを開催しました。この事業で得たノウハウは他の事業で活用するため、令和6年度予算からは300万円の減額となっています。

市民や職員にやさしい窓口へ

窓口デジタル化推進事業

1169万円

来庁者が複数の手続きを迷うことなく、同じ情報を何度も記載する必要のないワンストップ窓口と、どこからでも行政手続きができるオンライン申請機能を構築します。

問 窓口来庁者数とコンビニ証明等利用者数の割合を問います。

答 令和5年度の窓口での証明発行枚数は令和6年2月末時点で2万77枚、コンビニ交付枚数は4838枚で約20%ですが、年々増加しています。

問 窓口手続きのあるすべての課が「書かない窓口」を導入するのですか。

答 すべての窓口ではないのですが、ライフイベントの手続きにおいて

拡げられるよう、関係課と協議、検討を行っていきたいと考えています。

問 「書かない窓口」と「しまナビ」を活用し、どのような行政サービス向上を考えていますか。DXの将来ビジョンを問います。

答 オンライン化を推進して「書かない窓口」を活用することで、窓口に来られた市民が、複数の手続きを迷わず同じ情報を何度も記載する必要のない窓口の構築をしたいと考えています。また「しまナビ」を活用することで、窓口に行かなくても、いつでもどこでも各種手続きが可能となる市民サービスの向上につなげていきたいと考えています。

観光農園 人気観光スポットへ

観光農園整備事業

2740万1千円

高齢者、車椅子の方やベビーカーで来園の方も快適に入園できるように遊歩道の舗装を実施します。

問 耐久性のあるコンクリート舗装ではなく、アスファルト舗装にした理由を問います。

答 すでに自然色のアスファルト舗装が半分終了しており、引き続きこの工法での舗装を進める予定です。

問 令和元年度より段階的に舗装していく認識でしたが、なぜ残りの区間すべて

を令和6年度に舗装するのですか。

答 施設利用者が令和5年度は5万2000人を超え、年々増えている状況です。利用者に安全に楽しんでもらえるよう、舗装を完了します。

問 これで全区間の舗装が終わりますか。

答 将来的には外周も考えています。



市の魅力発信で インバウンド誘客

インバウンド誘客 促進事業

2417万円

インバウンドの回復を契機に、効果的なプロモーションや長期滞在につながる事業を実施し、誘客促進を図ります。

問 インバウンド誘客プロモーション事業は、香港・台湾で民間事業者とともにトップセールスを実施、またインフルエンサーを活用した誘客事業は、志摩の自然と食をテーマにPR動画を作成、海外で放映するとあります。両事業とも海外での実施ですが、事業内容と効果を問います。

答 インバウンド誘客促進事業は観光庁の補助金を活用して効果的な誘客事業を実施したいと考えています。

利活用可能な空き家の 推進を

空家等対策推進事業

580万8千円

大学等から学生の招致を行い、地域特性や課題を調査し、その分析結果をもとに利活用可能な空き家の活用を推進します。

問 どの地域の空き家の利活用を考えていますか。

答 空き家利活用産官学連携として、大学等と市内のフィールドワークを行い、その提案を志摩市空家等利活用推進会議とともに協議しながら地域を決めていきたいと思っています。



水の事故から命を守るために

小学生泳力向上事業

553万円

児童の泳力の向上を目的に、夏季休業中の学校プールを開放し自由水泳を実施するとともに、非常時でも落ち着いて対応できる力を身に付けられるよう着衣水泳を実施します。

問 全員に着衣水泳を学ばせる必要があると考えますが、見解を問います。

答 多くの子どもに参加させたいと思っています。しかし、着衣水泳を実施すると衣服の染料がプールに溶けるため、令和5年のプール最終日のみに実施しています。より多くの子どもたちが、まずは自由水泳の中で利用できるように取り組んでいければと思います。一方、東海小学校は伊勢志摩ライフセービングクラブの協力を得て、令和6年度に溺れないための講習を行います。これを皮切りに、ほかの学校にも展開していければと思っています。



常任委員会の審査から

―各委員会に付託された案件を審査しました。
ここでは主な質疑を掲載します。―

総務産業 常任委員会 主な質疑

議案第14号
絵かきの町交流広場の設置及び管理に関する条例の制定

地域の活性化や市民間交流の促進を目的として、新たに条例を制定します。

観光振興のモデル地区 大王崎

問 指定管理の考え方を問います。

答 指定管理の導入に向け、貸切り利用や駐車場の管理等、地域の方々と協議、検討を進めていきたいと考えています。

問 観光振興施策としての位置づけを問います。

答 大王崎周辺エリアは、地域が主体となる積極的

な取り組みをさらに発展させるため、条例制定が必要と考えています。市内観光振興のシンボリックなものとなるよう、市内の周遊促進や観光消費額の増加につなげていければと考えています。

議案第36号
定住自立圏形成協定の變更

定住自立圏の形成に関する協定の一部を變更することについて、議会の議決を求めるものです。

定住自立圏形成協定の變更とは

問 インクルーシブスポーツ環境の充実が追加となっていますが、パラスポーツを皆でできるものと理解しています。どのよう

答 インクルーシブスポーツとは障がいのある無や年齢等にかかわらず、だれもが同じ空間で楽しめるスポーツで、各種車椅子競技やボッチャ等様々な種目があります。認知度は低いので、今回の協定變更により伊勢志摩定住自立圏域の市町が連携強化を図り、イベントや講習会等で普及啓発に取り組みます。

教育厚生 常任委員会 主な質疑

議案第23号
福祉医療の助成に関する条例の一部改正

子ども医療費において、助成対象年齢の拡大を行うために条例の一部改正を行うものです。

医療費窓口負担なし
18歳に引き上げ

問 対象者数、助成総額を問います。

答 制度拡大後の対象者数は約4000人弱を想定しています。

助成総額は令和6年度子ども医療費扶助費の予算額として1億574万6000円を計上しました。

問 実施が令和6年度9月診療分以降になる理由を問います。

答 福祉医療費の資格更新の時期が9月1日から8月31日までです。

拡大分は市の単独事業ですが、福祉医療費の助成制度や県の助成制度を基礎に、市の単独分を上乗せして実施するためです。

請願第1号
障がい者・障がい児の相談支援体制の充実を求める請願

障がい者・障がい児相談支援事業の取り組みについて、更なる相談支援体制の充実を求めるものです。

相談支援体制の充実を求めて

問 相談支援専門員増員が緊急の課題ですが、本市の状況を問います。

答 相談申し込みが集中し、市内の特定事業所に対応できない場合、近隣市町の事業所に対応を依頼することがあります。

問 障がい者相談支援センター開設の経費を問います。

答 基幹相談支援センターと障がい者相談支援センターを合わせ5・5人と設計、施設等必要経費を含め、約2600万円の見込みとなり、国と県より45%の補助金が出るので、市負担は55%の約1430万円です。



討論

教育厚生常任委員会
請願第1号

障がい者・障がい児の相談支援体制の充実を求める請願

反対

山川 楠人 議員

市の抱える課題や本請願の課題の多くは利用者に近い「計画相談支援事業」に起因するものに対し、本請願の提案は「相談支援センター」に関わる市の委託事業を増設すべきというものです。この提案では、課題の解決には至らないと判断するため、反対します。

※他にも、教育厚生常任委員会で請願第1号に対し小河議員が反対討論を、予算決算常任委員会で議案第6号に対し山川議員が反対討論を行いました。本会議の討論と同内容のため割愛しました。

議案の審議結果一覧



●全会一致で可決した議案等

※紙面の都合上、議案名が省略され、正式名でないことがあります。

区分	議案名
条例	制定
	議案第 14 号 絵かきの町交流広場の設置及び管理に関する条例の制定
	議案第 15 号 阿児の松原地域活性化センターの設置及び管理に関する条例の制定
	改正
	議案第 16 号 監査委員条例等の一部改正
	議案第 17 号 認定こども園条例及び子育て支援センターの設置及び管理に関する条例の一部改正
	議案第 18 号 コミュニティセンターの設置及び管理に関する条例の一部改正
	議案第 19 号 職員の育児休業等に関する条例の一部改正
	議案第 20 号 委員会の委員等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正
	議案第 21 号 手数料徴収条例の一部改正
	議案第 22 号 学校体育施設の開放に関する条例の一部改正
	議案第 23 号 福祉医療費の助成に関する条例の一部改正
	議案第 24 号 老人憩いの家の設置及び管理に関する条例の一部改正
	議案第 26 号 阿児健康増進センターの設置及び管理に関する条例の一部改正
	議案第 27 号 都市公園条例の一部改正
	議案第 28 号 市営住宅管理条例の一部改正
	議案第 29 号 水道事業給水条例の一部改正
	議案第 30 号 消防団員等公務災害補償条例の一部改正
	議案第 31 号 空家等対策協議会設置条例の一部改正
	議案第 32 号 会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正
	議案第 37 号 指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に係る基準に関する条例等の一部改正
	議案第 38 号 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正
	議案第 39 号 職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正
	議案第 40 号 漁港管理条例の一部改正
	議案第 41 号 放課後児童クラブ条例の一部改正
予算	補正予算
	議案第 1 号 令和 5 年度一般会計補正予算（第 10 号）
	議案第 2 号 令和 5 年度国民健康保険特別会計補正予算（第 3 号）
	議案第 4 号 令和 5 年度介護保険特別会計補正予算（第 3 号）
	議案第 5 号 令和 5 年度国民健康保険病院事業会計補正予算（第 2 号）
	当初予算
	議案第 7 号 令和 6 年度国民健康保険特別会計予算
	議案第 11 号 令和 6 年度水道事業会計予算
	議案第 12 号 令和 6 年度下水道事業会計予算
	議案第 13 号 令和 6 年度国民健康保険病院事業会計予算
発議	発議第 1 号 志摩市議会会議規則の一部改正
	発議第 2 号 志摩市議会委員会条例の一部改正
	発議第 3 号 防災・減災・国土強靱化対策の拡充を求める意見書
その他	報告第 1 号 専決処分の報告（損害賠償の額を定めること）
	報告第 2 号 専決処分の報告（損害賠償の額を定めること）
	承認第 1 号 専決処分の承認を求めること（令和 5 年度一般会計補正予算（第 9 号））
	諮問第 1 号 人権擁護委員の推薦につき意見を求めること
	諮問第 2 号 人権擁護委員の推薦につき意見を求めること
	諮問第 3 号 人権擁護委員の推薦につき意見を求めること
	議案第 33 号 指定管理者の指定（越賀コミュニティセンター）
	議案第 34 号 三重地方税管理回収機構規約の変更に関する協議
	議案第 35 号 過疎地域持続的発展計画の変更
	議案第 36 号 定住自立圏形成協定の変更

●賛否が分かれた議案と審議結果

(付託委員会) 予…予算決算常任委員会 教…教育厚生常任委員会

※中村孝司議長は表決に加わりません。

【○：賛成 ×：反対】

区分	議案名	委員会付託	山川楠人	堀江しおん	濱野由人	松井研二	森光子	山本桂史	下村卓也	井上幹夫	前田俊基	濱口卓	渡辺友里夏	上村秀行	金子研世	野名澄代	山下弘	小河光昭	西崎甚吾	賛成	反対	結果
条例	議案第25号 介護保険条例の一部改正	教	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	16	1	可決
予算	議案第3号 令和5年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	予	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	16	1	可決
	議案第6号 令和6年度一般会計予算	予	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	16	1	可決
	議案第8号 令和6年度後期高齢者医療特別会計予算	予	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	16	1	可決
	議案第9号 令和6年度介護保険特別会計予算	予	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	16	1	可決
	議案第10号 令和6年度住宅新築資金等貸付事業特別会計予算	予	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	16	1	可決
請願	請願第1号 障がい者・障がい児の相談支援体制の充実を求める請願	教	×	×	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	×	×	○	×	○	10	7	採択
	請願第2号 子どものために「保育士配置基準の引き上げ」と「労働条件改善による保育士の増員」を求める意見書の提出を求める請願	教	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	15	2	採択
発議	発議第4号 子どものために「保育士配置基準の引き上げ」と「労働条件改善による保育士の増員」を求める意見書	なし	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	14	3	可決



議案第25号 介護保険条例の一部改正

反対

森 光子 議員

第9期志摩市介護保険事業計画で、介護保険料基準月額60円の増額です。令和5年度末の「介護給付費準備基金保有額」は5億円の見込みで、半額を取り崩して60円の増額に抑えたとのこと。準備基金保有額は取りすぎた保険料であり、準備基金をあと数千万円使った保険料は据え置きにするべきで、増額に反対します。



議案第6号 令和6年度一般会計予算

反対

山川 楠人 議員

本議案内の数多ある事業の中から1つの事業「農業の担い手受け入れ推進事業」に納得できなかったため、反対します。「地域おこし協力隊員」への人権軽視に繋がる可能性、また、地域の方々がしたくない・家族にさせたくない仕事を隊員にさせようとする思惑が見え隠れしているように感じます。皆さんには、本事業を注視し続けて欲しいです。

本会議での

討論



議案第8号 令和6年度
志摩市後期高齢者医療特
別会計予算

反対

森 光子 議員

後期高齢者医療制度は、原則75歳になるとすべての人が対象になります。保険料は上がり続け高齢者の生活を圧迫しています。令和4年10月から年収200万円以上の方の医療費窓口負担が1割から2割と2倍になりました。

賛成

金子 研世 議員

予算決算常任委員会での採決では、ひとりの議員は一切質疑することな

く反対しています。議案に対する質疑もなく、疑義があるのかも明示せず、ただ反対の意思のみを表明することは無責任極まりなく、議員としての職責の放棄です。

議会の在り方さえ冒流するようなこの横暴に感わされることなく、真つ当な判断をお願いします。

議案第9号 令和6年度
志摩市介護保険特別会計
予算

反対

森 光子 議員

第9期志摩市介護保険事業計画に基づき、介護保険料基準月額を60円増額して6800円にすることに反対です。介護保険料増額で作成された、令和6年度志摩市介護保険特別会計予算に反対します。

賛成

金子 研世 議員

予算決算常任委員会での採決では、ひとりの議

員は一切質疑することなく反対しています。議案に対する質疑もなく、疑義があるのかも明示せず、ただ反対の意思のみを表明することは無責任極まりなく、議員としての職責の放棄です。

議会の在り方さえ冒流するようなこの横暴に感わされることなく、真つ当な判断をお願いします。

議案第10号 令和6年度
住宅新築資金等貸付事業
特別会計予算

反対

森 光子 議員

住宅新築資金等貸付事業はすでに終わっています。多額の未収金については、しっかり調査整理して、一般会計に入れるべきではないかと考えます。国への償還は、令和3年に市が支払って終了しています。

市の財源からどれだけ使われているかなど疑義が解決できていません。よってこの予算に反対し

ます。

賛成

金子 研世 議員

予算決算常任委員会での採決では、ひとりの議員は一切質疑することなく反対しています。議案に対する質疑もなく、疑義があるのかも明示せず、ただ反対の意思のみを表明することは無責任極まりなく、議員としての職責の放棄です。

議会の在り方さえ冒流するようなこの横暴に感わされることなく、真つ当な判断をお願いします。

請願第1号 障がい者・障がい児の相談支援体制の充実を求める請願

反対

金子 研世 議員

本請願で提案をいただいた2点に関する担当課からの説明では、本請願の必要性を確認できませんでした。

よって私は教育厚生常任委員会ですべての質

疑、答弁、担当課からの説明により総合的に判断し、不採択が望ましいと判断しましたので、議員の皆さんにおかれましては、本請願に対し不採択していただけますことをお願いします。

賛成

上村 秀行 議員

本市の現状は基幹センターが相談支援センターと計画相談を兼務で事業を行っています。

令和4年の障害者総合支援法等一部改正や令和6年度障害福祉サービス等報酬改定を踏まえた障がい分野における相談支援の最新の動向では、現行の体制を見直し業務の明確化を厚生労働省から求められています。以上私の賛成討論といたします。

反対

小河 光昭 議員

障がい者の相談支援体制の充実が必要でありますが、複数の事業所への

相談支援センターの委託は、現在の体制でも相談や課題が滞るような状況ではありません。

分散化は、現在の良好な体制に危機感を与え、税金の投入も必要となります。また、相談支援専門員の増員は、市も重要な課題と認識し、対応策の実施を進めています。

賛成

前田 俊基 議員

通常、行政側より指示や指導を受ける側である、立場の弱い事業者の方々からの請願であると思いますし、障がいを持つ市民の思いを尊重し、市政に取り入れていくことはとても重要なことであると、私は考えます。

すべての市民が自立した生活を本市で営むことができますことを願い、この請願に賛成いたします。

政務活動費 実績を報告します

志摩市議会では申請を行った会派に対し、会派所属議員一人当たり月額2万円を交付しています。政務活動費は会派が行う調査研究その他の活動に充てられます。

期間：令和5年4月～令和6年3月

会派名	人数	交付額	返還額	交付実績額
所属議員	主な内容			
伊勢志摩 カンタービレ	1人	240,000円	240,000円	0円
山川 楠人	—			
桂政会	1人	120,000円	120,000円	0円
山本 桂史 (10月から)	—			
公明	1人	240,000円	17,881円	222,119円
渡辺友里夏	●調査研究費 ・宮城県七ヶ宿町・岩手県陸前高田市・福島県道の駅猪苗代視察 ●研修費 ・5/22～5/23 市町村議会議員特別セミナー参加費 ・10/25～10/26 第18回全国市議会議長会研究フォーラム参加費 ・2/9～2/11 アメニティーフォーラム27参加費 ●資料購入費 ・書籍購入費			
自由クラブ 志摩	4人	1,080,000円	239,247円	840,753円
前田 俊基 西崎 甚吾 山下 弘 井上 幹夫 山本 桂史 (9月末まで)	●調査研究費 ・宮城県七ヶ宿町・岩手県陸前高田市・福島県道の駅猪苗代視察 ●研修費 ・10/25～10/26 第18回全国市議会議長会研究フォーラム参加費 ・2/22 廣瀬行政研究所主催セミナー参加費 ●資料購入費 ・書籍等購入費			
新風	2人	480,000円	0円	480,000円
小河 光昭 下村 卓也	●調査研究費 ・滋賀県近江八幡市・岐阜県飛騨市・全国過疎問題シンポジウムinとやま・北海道漁協等視察 ・情報開示請求費 ●研修費 ・2/16 自治体議会特別セミナーinとば参加費 ・2/22 廣瀬行政研究所主催セミナー参加費 ●広報費 ・広報紙印刷費 ●事務所費 ・消耗品等購入費			
日本共産党	1人	240,000円	144,330円	95,670円
森 光子	●研修費 ・5/22～5/23 地方議員研究会研修参加費 ・7/3～7/5 市町村議会議員研修(3日間コース)「社会保障・社会福祉」参加費			

※会派「自民党・無所属の会」「自由民主党」「しんせい日本」「正流会」からは交付申請がありませんでした。
※政務活動費収支報告書・実績報告書、支出伝票およびその伝票に係る領収書等はホームページに掲載しています。



請願第2号 子どものために「保育士配置基準の引き上げ」と「労働条件改善による保育士の増員」を求める意見書の提出を求める請願

反対

渡辺 友里夏 議員

県議会で採択された請願および意見書は、処遇改善として「保育士の公民給与格差是正」と「保育士の賃金水準の引き上げ」は求めています。保育士の増員は求めています。提出された請願と県議会で採択された請願とは同一ではありません。保育士の増員は単に労働条件の改善だけではなく、養成所の充実等他の要素が必要です。

賛成

森 光子 議員

保育士の努力と情熱だけでは子どもの安全安心は守れないと現場から声が上がっています。あつてはならない事故も起きています。保育士や保護者、より良い保育を願う多くの皆さんの運動で大きな山が動き、国の保育士配置基準が75年ぶりに見直されました。全ての保育所に早期に適用されるために国に声を届けることは重要です。

反対

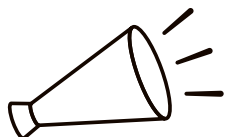
金子 研世 議員

紹介議員のひとりにはエッセンシャルワーカーの意味を理解せず、また本請願の主旨の1つである「労働条件の改善」においても、賃金、給料、給与等の区別と理解ができず、修正、削除を繰り返しました。このようないかなる誤りがあつた請願では、修正をしていない他の箇所において、その信憑性が疑われますので、反対します。

議長交際費 実績を報告します

期間：令和5年4月～令和6年3月

内容	支払額
御田植祭大訓式会費	20,000円
訪問先への手土産	4,105円
訪問先への手土産	4,105円
常任委員会管外視察先への手土産	5,080円
合計	33,290円



一般質問

市政のここを聞く！

10人の議員が熱弁



一般質問とは、議員が議案とは関係なく市政全般について、市長の考えや意見を求め、事情をただし、議員や市民の意見などを述べることをいい、定例会でのみ行われます。

議員一人の持ち時間は60分以内と定めており、議会だよりでは、一般質問を行った議員本人が作成した原稿を、議会広報特別委員会で確認して掲載しています。

一般質問一覧

議員名	質問事項
金子 研世	1. 令和6年志摩市長選挙への立候補について 2. 大阪万博開催に伴う誘客について 3. 令和7年度の修学旅行先について 4. 給食について
松井 研二	1. 防災・減災対策について
野名 澄代	1. デマンド交通実証運行について 2. 経常経費削減の取り組みについて 3. 公用車の管理について
西崎 甚吾	1. 市民が参加しやすいまちづくりを推進するために
森 光子	1. 能登半島地震を教訓にした防災対策強化について 2. 介護保険制度第9期計画から 3. 本市の喫煙者と禁煙者の職場環境について
下村 卓也	1. 能登半島地震を教訓として 2. 停職処分後について 3. 志摩市民病院の状況について
井上 幹夫	1. 大規模震災発生後の対応について
前田 俊基	1. 阿児清掃センターの解体工事について 2. 市道の道路標識や案内板について 3. 農地有効利用スマート化調査研究委託の成果について
濱口 卓	1. 防災対策について 2. 豪雨による冠水被害の解消について 3. 予防接種について
堀江しおん	1. 集落支援員の現状と課題、今後の展望について 2. 災害時の在宅避難者への対応と情報集約について

YouTube「志摩市議会」チャンネルでは一般質問の録画映像を視聴できます。

こちらから





かね けん せ
金 子 研 世
議員

どうする市長選挙



YouTube



まつ い けん じ
松 井 研 二
議員

歴史に学び 想定外の想定を



YouTube

問 令和6年10月に予定されている志摩市長選挙の立候補について、橋爪市長の考えを明確にお聞かせください。

答 市長 子や孫の世代へ自慢できる新しい志摩市という贈り物ができるように、これからも変化を起こしながら、様々な施策を力強く、私が先頭に立って、さらに進めていかなければなら

ない。

いと考えています。本市は今、市制施行20周年を迎え、新たな時代へ向かって動き始めています。後戻りすることなく、さらに前へ進めていくため、私は次期市長選挙へ立候補する決意を固めました。

問 市長任期である令和6年10月30日において、公約の達成状況をどのように見込んでいますか。

答 市長 数字で表現するこ

とは大変難しいですが、これまでの取り組みに対する自己評価は、実施中のものを含め、7割程度は進捗しているものと分析しています。

学校給食を守る

問 給食で使用する賄い材料費を、現在の物価高騰が異常な状況下では、早い時期に物価高騰分をしっかりと含めた補正予算を構築していれば、子どもたちにあ

と一品出せましたし、ワンランク上の食材を使用できました。令和5年度は補正予算での対応が足りなかったと考えますが、教育委員会の見解を問います。

答 教育長 もっともなこ

とだと思えます。教育委員会としても、物価の流れを注視しながら、給食の運営には努めてきました。しかし、急激な物価上昇の中で対応が遅れたという見方もあるかとは思いますが、それぞれ先を見ながら食材の調達等をしてきました。

問 平時での備えについての考えや取り組みを問います。

答 市長 南海トラフ地震の発生確率は非常に高く、本市の被害想定は、県内では最も大きい約8700人です。市でも公助としての防災・減災対策に現在、スピード感を持って取り組みを進めているところです。市民の皆さんも、一人ひとりが災害を正しく恐れ、自分の命は自分で守るという強い意識を持ち、大規模災害時に備え、平時での取り組みを進めていくようにお願いいたします。

問 携帯電話やスマートフォンが普及した現在では、公衆電話の使い方を理解できていない子どもがいる可能性もあります。公衆電話の使い方を含めた防災学習も取り入れていくべきと考

えますが市の見解を問います。

答 危機管理統括監 公衆電話等の有線電話の場合、一般の電話を制御するため、通信回線が確保されることから、災害時に有効とされています。東海中学校では、体験用の電話機を使用した、災害用伝言ダイヤルの体験会を実施しています。このような体験会の開催を学校現場にて検討し、防災講話等を行う際には、必要に応じて図解等を用い

て解りやすく説明をしています。



災害時利活用の認識を

問 応急仮設住宅の想定戸数や用地選定はしっかりと計画されていると思いますが、応急仮設住宅はどのような仕様を考えていますか。

答 建設部長 工事期間の短いプレハブ式の仮設住宅、長屋形式の木造仮設住宅、一旦地元を離れた被災者が戻られる一戸建ての木造仮設住宅、それぞれを検討している最中です。





の な す み よ
野 名 澄 代
議員

指定停留所の変更は

問 指定停留所の場所ですが、足の不自由な人たちが「近くでもそこまで行くのが大変」として、停留所の変更あるいは乗降車時の臨機応変な対応を望む声があります。市に届いていますか。

答 政策推進部長 実証運行 始めるにあたり、停留所は地域の方々や自治会を中心とした意見を参考に設定しています。

ただ、実証運行後に指摘された問題も起こってくると思いますので、デマンド交通の効率的な運行に資する部分であれば、検討していかねばいけないと思っています。

利便性を優先したデマンド運行を

町の境界は実証実験で

問 デマンド交通は「原則、旧町の境界は越えない」でしたが、利用者の利便性を優先するためには見直しが必要です。

例として、旧町の境界を越えて通院している方々は、旧町のコンビニまでデマンドに乗り、そこから豊茶屋の路線バスの停留所まで行き、その後、路線バスが徒歩で医院まで行かなければなりません。

旧町を境界としたエリアの指定は他地区にも当てはまる課題として、ケースバイケースの中で見直していく考えはありませんか。

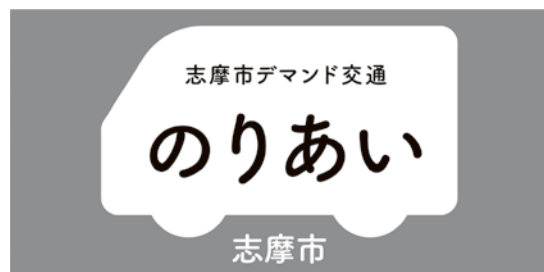
答 市長 旧町の境界線を越えての問題は運行事業者との交渉等々も必要ですが、利用している市民の生活スタイルに合っているか



YouTube

実証実験において聴取している状況です。

境界線を越えることに問題がなければ、調整すべき部分もあると思いますし、利用者の意見を優先したうえで運行事業者と調整できるかということになってくると思いますので、その時々において取り組んでいきたいと思っています。



乗降場所の標識



にし ざき じん ご
西 崎 甚 吾
議員

問 まちづくりへの参加として、基本条例には3つの参画機会を規定していますが、市民の参加状況と、評価や活用を問います。

答 市民生活部長 審議会 等の公募委員は、公募制度がある審議会総委員数99人の中で10人です。公募方法は広報しまや市ホームページに掲載し、採用は提出された作文の審査を経て決定します。多様な視点を持つ委員が参加できることで、より幅広い意見を取り入れることができます。

説明会や対話集会について、令和5年度は市全体で26回開催し、参加人数は延べ1162人です。令和元年度以来4年ぶりに市民集会が開催され、寄せられた要望や意見は今後の市政に反映して順次、対応しているところ です。

市民が参加しやすいまちづくり

意見公募やアンケート調査等について、令和5年度は合計11回実施し、寄せられた意見等は関係部署と情報共有して市のホームページで公表しており、年2回の政策協議を通じて全庁的にスピード感を持って、市民の目線に立った適切な対応を行っています。

今後、取り組む課題

問 市のまちづくりの課題である、若者や女性がまちづくりに参加しやすい仕組みづくりの考えを問います。

答 市民生活部長 多様な世代の参加は、多様な視点を生かしたまちづくりを実現できると考えており、今後は、オンライン会議や短時間の会議、テーマ別の会合等、希望する会合に気軽に参加できる仕組みを関係



市民集会の様子

部署とも連携し、まちづくりに参加する意欲が増すような仕組みを検討したいと考えています。



YouTube



森 もり
光 みつ
子 こ
議員

介護保険料の増額は止めるべき



YouTube

介護保険制度の課題は

問 介護保険制度は、保険料に加え、サービス利用の1割負担と支給限度額を超えるサービスは全額自己負担のため、低所得者ほどサービスの利用を控え、家族介護への依存が高まっています。老後の安心となる制度には程遠いようです。現状の課題を問います。

答 健康福祉部長 制度の周知や相談支援体制を強化し、必要な方に必要なサ



ビスを届けるため継続した取り組みをしています。高齢者人口の減少と相まって要支援者・要介護認定者が増加しています。地域の支え合い体制づくりや介護予防事業の促進、認知症施策の醸成等も課題と捉えています。一方で市民の実態や現状を踏まえた介護保険制度の充実について、引き続き国に要望していきたいと考えています。

保険料は据え置きへ

問 第9期介護保険事業計画では、第5段階を基準として月額60円の増額です。段階が上がることによって増えます。物価高騰は続き各種保険料の家計負担は限界とな

っています。令和5年度末の介護給付準備基金保有額は5億円の見込みですが、この準備基金の取り崩しをもう少し増やし、介護保険料を据え置くことはできませんか。

答 健康福祉部長 新型コロナウイルス感染症による介護サービスの利用控えなどがありましたが、今後回復が見込まれることで介護給付費の急激な増加が考えられます。また、物価高騰等、社会情勢によって処遇改善加算見直しの議論もあり、安定的な保険運営のため基金は最小限保有する必要がありますと考えています。

自治会との連携強化

問 関係機関との連携強化を進める必要がありますか。

答 危機管理統括監 防災・減災対策には、自助・共助・公助の連携は重要であり、十分機能する必要があると考えています。自治会との連携と機能の構築については、地域で助け合う共助の役割は非常に大きいものとなり、その主体となる自治会との連携は、地域防災力の強化に必要不可欠であり、防災技術指導員を中心に、特に注力しているところです。



しもむら たくや
卓 也
議員

能登半島地震を教訓に



YouTube

定避難所に指定されている施設のうち、地震津波時に優先して開設される避難所は25カ所です。この避難所すべてが耐震基準を満たしています。

停電対策は、市指定避難所115施設中、太陽光発電の電力を利用できる施設が5施設、そのうち蓄電池を設置している施設が2施設あります。

問 市民の命を守り、安心して避難所生活が送れるよう最低でも各町1カ所以上の蓄電池設備を備えた太陽光発電施設を整備する必要がありますか。

答 危機管理統括監 避難所の非常用電源の確保については、引き続き、重要な課題として取り組み、災害時において、避難者が安全で安心して生活を送るために必要な対策を進めていきます。

断水時の水の確保は、小中学校の一部において受水槽を設置しており、その貯水分については活用を想定しています。

通信対策は、離島である間崎自治会と渡鹿野自治会のほか、南張自治会、安乗自治会に対し、衛星携帯電話を配備してい

インフラ整備は万全か

問 主要避難施設のインフラ整備は万全ですか。

答 危機管理統括監 市指



太陽光発電蓄電池



井上 幹夫 議員
いのうえ みきお

派遣職員からの報告は

問 能登半島地震に係る被災地へ市職員を随時派遣しました。派遣された職員からどのような報告があったかを問います。

答 危機管理統括監 令和 6年3月6日現在、派遣中の職員1名を含め、市職員24名、消防職員27名、計51名の職員を派遣しています。



能登半島地震で倒壊した家

過去の震災を教訓に 備えよう



YouTube

救急活動従事者からは、「道路被害も大きかった」避難所運営支援の従事者からは「手等を洗う生活用水の確保が難しく、衛生状態の確保に気がつかった」また、「食事は栄養が偏ってしまつたため、体調管理に配慮が必要」「簡易トイレの水の搬入がされず近隣の用水池に水を汲みに行つた」消防本部からは、「他部隊との救助情報等の共有が重要である」旨の報告を受けました。

震災からの学びは

問 今後の課題をどのように捉えているかを問います。

答 危機管理統括監 ライフラインの大きな損傷や復旧作業の長期化、災害孤立地域の発

生、トイレをはじめとする避難所環境と避難所運営の問題、女性や子ども、高齢者や障がい者等の災害時要配慮者対策の必要性等、今回の能登半島地震で浮き彫りとなった課題の多くは、南海トラフ地震発生時の本市でも起こり得るものです。

これまでの大災害による尊厳犠牲と、今もなお避難生活等で不自由な生活を余儀なくされている方々のご苦勞、また、被災地支援活動や復旧・復興活動に従事されている方々のご努力を無駄にすることなく、市民の皆さんの生命、財産を守るために、全庁体制で取り組んでいきます。

解体後は防災備蓄基地



前田 俊基 議員
まえだ としもと

問 解体撤去が正式決定した経緯と計画等、今後の方針を問います。

答 市長 阿児清掃センター は、平成26年4月に鳥羽志勢広域連合やまだエコセンターの稼働に伴い、焼却施設を停止しました。当施設は老朽化が進み、今後も稼働の見込みが無いため、早急に解体撤去し、跡地には、防災の拠点となる備蓄基地の建設を予定しています。

答 市民生活部長 解体工事は、令和6年度から7年度の2カ年で行う予定です。仮称・防災拠点備蓄基地は、被災者の生活に必要な物資の備蓄整備および調達体制の充実を目的に整備します。構造は、鉄骨造り平屋建て、施設面積は約1

阿児清掃センター 解体工事決定



YouTube

500㎡を想定しており、令和7年度中に建築実施設計を行い、完成は令和9年3月を予定しています。

問 地域住民や耕作者への事前説明は行いましたか。

答 市民生活部長 令和5 年12月に近隣住民や沿線の事業所、耕作者の皆さんの不安解消と意見を聞くため、事業概要説明会を実施しました。

問 道路改修の予定はありますか。

答 市民生活部長 大型車両の通行で市道等が傷んだ場合は、破損部分の随時復旧や最終的には工事終了後、原状復旧を予定しています。また、部分的に拡幅可能な用地もあるため、地元自治会の要望や交通量、利用状況等、相対的に調査研究したいと考えています。



解体される阿児清掃センター

問 続発する大災害から学んだ備蓄基地に蓄える物資や機材をどのように考えますか。

答 危機管理統括監 能登 半島地震によって浮き彫りになった課題を検証したうえで、調達備品や数量見直しを行い、新たに整備する防災拠点備蓄基地に配備していきます。



はまぐち たかし
濱 口 議員

能登半島地震から学ぶ

問 能登半島地震において被害要因となった液状化対策、発災後の生活用水等の確保、災害廃棄物の処理の対応を問います。

答 危機管理統括監 液状化対策は住民への周知啓発が必要ですが、問い合わせがなければ周知等に至っていないのが現状です。

今後は、能登半島地震の教訓を生かし、開発指導窓口および建築確認申請窓口とも連携を取り、液状化対策への周知啓発に努めていきます。

答 上下水道部長 緊急遮断弁により13基の配水池容量の半分を確保すると、約1万5000m³の水道水が確保でき、観光人口を含む、約6万人の8日分の飲料水となります。

市民の尊い生命と財産を守り抜く



YouTube



下之郷地区冠水状況

答 市民生活部長 市災害廃棄物処理計画では、発生量の推計値を県地震被害想定調査に基づき、可燃ごみ、不燃ごみ、津波堆積物の合計141万4000トンを、東京ドームに例えて換算すると約1・5杯分になります。また県災害廃棄物処理計画では、3年間で処理が可能となる計画です。

問 下之郷地区の冠水対策の解消時期はいつ頃になるのか問います。

答 市長 県、国への訴えや理解を求め、地元としてできることを計画的に進められればと思っています。今後、期限を考えながらしっかりと取り組みを進め

ていきたいと思っています。

問 高齢者の肺炎球菌予防接種への国からの助成が令和5年度末で終了しますが、今後の市の対応を問います。

答 健康福祉部長 令和6年度から令和10年度までの5年間について、65歳以上の5歳刻みの任意接種助成を延長して実施したいと考えています。

市民の安全安心を守る

問 高年齢者の肺炎球菌予防接種への国からの助成が令和5年度末で終了しますが、今後の市の対応を問います。

答 健康福祉部長 令和6年度から令和10年度までの5年間について、65歳以上の5歳刻みの任意接種助成を延長して実施したいと考えています。

答 市長 県、国への訴えや理解を求め、地元としてできることを計画的に進められればと思っています。

今後、期限を考えながらしっかりと取り組みを進め



ほり え おん
堀江しおん 議員

高齢化地域を助ける集落支援員



YouTube

問 令和5年7月、本市初となる集落支援員が間崎島に配置されました。今後この制度を活用していく方針ですか。

答 市長 間崎島以外の地域も、さらなる人口減少や高齢化により様々な課題に直面する可能性があります。課題解決の手段のひとつとして、集落支援員の配置も含めた取り組みを検討していきます。

問 集落支援員の役割は何ですか。

答 政策推進部長 集落支援員制度とは、地方自治体が地域の実情に精通し、集

落対策の推進に関して、ノウハウや知見を有した人材を支援員として委嘱する総務省の制度です。支援員は集落への目配りとして、集

落の状況把握や集落点検の実施、住民同士や住民と行政間の話し合いの促進等が主な役割です。

問 間崎島ではどんな課題が共有されていますか。

答 政策推進部長 日々の買い物や通院、ごみ出しや重い荷物の運搬、自宅の草刈りや修繕、亡くなった人の遺品整理等、島民の高齢化に伴う生活面での困り事が多くあり、支援が必要な

課題として共有しています。

また、海洋漂着ごみや海中投棄物、空き家から発生するごみ等の回収・処分等も支援員活動として実施しています。

問 今後、集落支援員をどのように配置していく予定ですか。

答 政策推進部長 複数の行政区や自治会をまたいで活動を行う配置方法等も含めて、自治会等と協議の上、地域の状況に応じて最適な配置を検討していきます。

答 副市長 地域コミュニティが持続可能なものとなるように、市と支援員が一緒になって、地域に寄り添いながら課題を解決していくことが重要と考えています。



間崎島



こんにちは

志摩びとさん

三重県立 志摩高等学校

～未来に残したい地域の力～

●志摩高校を紹介してください。

市内唯一の普通科高校です。生徒数は120名ほどの小規模な学校ですが、それだけに教職員と生徒の距離が近いため、それぞれの生徒に応じたきめ細かい指導を行うことで能力を伸ばし、卒業後の希望進路の実現につなげています。

また、全校生徒の90%以上が市内の中学校出身です。このような地域性の高い学校はあまりなく、生徒は教職員や保護者のほかに市や商工会等、地域の方々から様々な形で協力をいただながら、学習活動を行っています。

●特徴的な学習はありますか。

地域学習「志摩学」です。これは市内の事業所の協力を得て、職場体験等も行いながら志摩について詳しく学ぶ地域連携型キャリア教育です。志摩高校では平成30年度から総合的な探究の時間を「志摩学」と称し、この取り組みを進めています。



令和5年度は、1年生が「志摩市の課題を知る」2年生は「事業所様からのテーマを考える」3年生は「志摩市紹介冊子づくり」をテーマとして活動を行いました。

令和5年9月には市内約20力所の事業所・施設を訪問するフィールドワークを実施し、地域の方々の取り組みについて学習しました。また、令和6年2月には1年間の活動をまとめた全体発表会を開催しました。全体発表会には橋爪市長にもお越しいただき、2グループの発表に対して市長賞が授与されました。

「志摩学」の取り組みは令和5年度で6年目になりました。今後も皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

令和6年第2回定例会日程(予定)

6月	6日	本会議
	10・11・13日	本会議（一般質問）
	18日	総務産業常任委員会
	19日	教育厚生常任委員会
	21日	予算決算常任委員会
	27日	本会議

市役所6階議場・委員会室にて午前9時から
※都合により変更になる場合があります。

議会広報特別委員会

委員長 堀江しおん
副委員長 森 光子
委員 松井 研二
委員 井上 幹夫
委員 前田 俊基
委員 渡辺友里夏
委員 野名 澄代

より良い議会だよりに向けてのアンケートにご協力ください！

皆さんに読んでいただける議会だよりを目指してアンケートを実施しています。ぜひ回答にご協力をお願いします。



スマートフォン等で二次元バーコードを読み取るか、左記のURLよりアクセスしてください。

URL <https://logoform.jp/form/c8nc/573058>

この広報紙は、古紙配合率40%、白色度83%の再生紙と、環境にやさしい植物油インキを使用しています。



「しまし議会だより」はボランティア団体のご協力で、視覚障がいのある人に音訳(朗読)による広報をお届けしています。